

## リサーチメソッド講座（第1回）を開催しました！

—リサーチメソッド講座は、日頃の実践を研究として発展させるための基礎講座です—

去る平成 29 年 7 月 15 日（土）14 時～17 時、大阪は難波のカフェ形式の会場で、第 1 回目のリサーチメソッド講座を開催しました。

第 1 回は、安東茂樹 先生（京都教育大学名誉教授、広島国際学院大学工学部総合教育センター教授）を講師にお迎えし、「研究の視点をふまえて実践研究を推進するために」と題して、何のためにその研究に取



り組むのかという根底の部分から、研究に取り組む姿勢や心構え、研究計画や構成、実践を研究論文にまとめる方法に至るまで、多様な論文を例に、わかりやすく具体的にご指導していただきました。

3 時間にわたる講座は、「日々の仕事に邁進する先に研究がある」と繰り返し語られる先生の熱意が参加者のみなさんを巻き込み、あっという間に終了時間となりました。ありがとうございました。

### 【参加者のみなさんのご感想】

- 本日の講座は、もともと現場の教員をされていた大学の研究者の先生のお話とあって、とてもとても共感できるものであった。今日は、来てよかったと心から思える講義内容であった。すごく力強いパワーをいただいた。明日の実践から、またがんばっていこうと思えた。
- 論文の作成方法より、日々の業務の延長戦に研究活動が成り立つという部分が非常に印象に残りました。また、業務への取り組む姿勢について、改めて初心を思い返す機会にもなりました。
- 安東先生の教育への情熱が伝わり、学び続ける教員のあるべき姿からとてもたくさん学ぶことができました。現職教員として、「子ども第一」の気持ちから自分の専門性を高める必要性をあらためて感じました。本日は、本当にありがとうございました。
- 「学校で適当なことをしていると、その姿勢が論文に見えてくる」というお言葉が非常に印象に残りました。
- 「論文、研究には人間性が出る」、とても考えさせられることの多い講座でした。ありがとうございました。
- 大変勉強になりました。日々、子どもと関わっている教育実践者としての自覚をもって、愛のある視点で研究をしていきたいと思いました。
- 安東先生、ありがとうございました。研究の大きな流れ、リサーチの方法などが実例と共に示されていて、わかりやすかったです。あとは時間との戦いですよね。ありがとうございました。

